

お酒の飲み過ぎを抑え、 頭が冴える食品成分の発見



琉球大学大学院医学研究科 教授 **益崎 裕章** 氏

1989年 京都大学医学部卒業、京都大学医学博士
2000年 ハーバード大学医学部客員助教授、
2008年 京都大学 内分泌代謝内科講師、
2009年より現職
日本内分泌学会 筆頭理事、日本肥満学会 常務理事
専門分野は肥満症学、内分泌代謝学、糖尿病学、脳科学、分子栄養学

講演要旨

沖縄県はお酒の飲み過ぎや肥満に伴う脂肪肝がきっかけとなって肝硬変や肝臓がんによって代表される肝臓の病気で死亡する割合が男女ともに全国で一番高い地域である。

沖縄県の健康長寿復活を目指して行ってきた私たちの研究から玄米の中に高濃度に含まれる機能成分の中にお酒の飲み過ぎを抑え、認知機能を向上させる優れた働きがあることが明らかになった。天然食品素材を上手に活用して生き生き感にあふれる100年健康人生を歩むヒントをご紹介します。

関連商品のご紹介

●飲む玄米成分 ドクターオリザ



琉球大学医学部第二内科の研究で、玄米の成分が脂肪分の多い食事への誘惑を軽減することが解明されました。
玄米に含まれるγ(ガンマ)オリザノールをマウスに与えた実験で、高脂肪食への「依存状態」を緩和するはたらきが認められました。

お問い合わせ

株式会社実身美
<https://sangmi-kenko.jp/>



●玄米フーディクル



琉球大学医学部第二内科の研究成果により、以下の特許を取得、出願しています。

- ◆日本特許庁に登録済
「腸内細菌叢構成比率調整剤(腸内フローラのバランス調整剤)」
- ◆特許出願中
「アルコール依存症の予防薬」、
「認知機能改善剤、神経新生促進剤及び認知機能改善用経口組成物」

お問い合わせ

株式会社SENTAN Pharma
<http://www.sentan.co.jp/>

